



令和5年10月31日

道路下水道局 道路利活用推進課

市政記者各位

無電柱化の工期短縮・コスト縮減に向けた 実証実験を開始します

福岡市では、令和4年3月に策定した「福岡市無電柱化推進計画(R3～R7)」に基づき、「防災」、「安全・円滑な交通」、「景観形成・観光振興」を目的として無電柱化の整備を進めております。

無電柱化には、“工期が長い”、“コストが高い”という課題があるため、工期短縮やコスト縮減に向けた検討を進めており、その一環として、「工事ヤードの常設化」の実証実験を開始します。

【無電柱化とは】

電柱に架かる電気や通信などの電線類を道路の地下に埋めた後に、電柱を撤去し、道路上から電柱や電線を無くすこと。

無電柱化によって、災害時の電柱倒壊による通行の妨げをなくすとともに、歩きやすい歩行者通行空間の確保や空が見える美しい街並みの形成が可能。



【工事ヤードの常設化 概要】

無電柱化の工事は、交通確保のため、繰り返し工事ヤード(作業場所)を設置・撤去しておりますが、工事ヤードを常に設置(常設化)しておくことで、工期短縮等をはかるものです。

■場 所:福岡空港線(博多区西月隈) ※年末年始は一時的に工事ヤードを撤去予定

■期 間:令和5年11月6日(月)22時～令和6年3月中旬



■効 果:工事ヤードの設置・撤去の作業が減ることで工期短縮及びコスト縮減を想定(工事完了後、検証予定)

【お問い合わせ先】

計画部 道路利活用推進課
担当 山口、安部

TEL 711-4519

FAX 733-5533